

国際シンポジウム

持続可能な社会の形成に向けた「場の教育」

「知っている」から「行動」へ



専門家、学生、市民が語り合う

参加無料

2016年1月23日(土)、24日(日)

早稲田大学大隈小講堂、国際会議場

学校教育から生涯教育、野外体験から環境教育、そして「地域創生」や「地域おこし協力隊」という政策や企業のCSR活動でも、地域への注目が広がっています。地域を知ることから、個人や社会を変える「行動」にどうつながっていくのか。「Place-Based Education (PBE)」として世界でも注目される流れを軸に、海外の専門家を招いた国際シンポジウムを開きます。

対象：学校教育や生涯教育、地域づくりや農山村交流、CSR などに関心を持つ学生、企業人、行政・政策担当者、実践者、研究者

助成：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金

共催：早稲田大学留学センター

企画委員：阿部治・立教大学教授、安藤聡彦・埼玉大学教授、板垣順平・神戸大学学術研究員、木俣美樹男・東京学芸大学名誉教授、佐々木豊志・くりこま高原自然学校代表、佐久間憲生・出羽三山の自然を守る会代表、豊田光世・新潟大学准教授、高野孝子・早稲田大学教授、横山隆一・日本自然保護協会参事

後援（予定を含む）：日本環境教育学会、日本エコツーリズムセンター、日本野外教育学会、持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）、日本環境教育フォーラム

ECO  PLUS

日程・分科会

23日(土) 午前9時45分開場、同15分開始、大隈記念講堂小講堂
特別ゲストの基調講演、分科会(以下の4つを予定)、午後5時すぎまで

- ①自然保護活動；地域の自然を知る価値
- ②学校教育；地域に根ざす学びPBEは学校を変えられるか
- ③ふるさと再発見；日本各地の、風土、地域に根ざした学び
- ④冒険教育；冒険の「ディズニー化」。PBEはどうあらがえるか

午後6時 交流会(一般3,500円、学生2,500円)

24日(日) 午前10時開始、早稲田大学・国際会議場井深大記念ホール
パネル討論、グループ討議、全体討議、とりまとめ会議(午後3時終了予定)

特別ゲスト



アンバ・ジャミールさん

Mr. Amba JAMIR

環境弁護士

インド北東部のナガランド州の少数民族アオ族。環境に関する弁護士資格を持ち、山岳地での農業、資源管理、人材開発など、少数民族が暮らす地域社会を中心に、持続可能な社会を目指した幅広い教育活動を展開している。



サイモン・ビームズさん Dr. Simon BEAMES

英国・エジンバラ大学シニアレクチャー

カナダ出身。マレーシア、香港、米国などでの23年に渡る豊富な指導体験を持つ。体験学習、野外教育・環境教育を出発点に、持続可能性教育までの幅広い領域で活躍。「Learning outside the classroom(教室の外での学び)」などの著書がある。



桑子敏雄さん

Prof. KUWAKO Toshio

東京工業大学大学院教授

社会理工学研究科。専門は哲学、倫理学、合意形成学、プロジェクトマネジメント論。『風景の中の環境哲学』(東京大学出版会、2005)、『空間の履歴』(東信堂、2009)、『生命と風景の哲学』(岩波書店、2013)『社会的合意形成のプロジェクトマネジメント』(コロナ社、2016年1月末刊行予定)など。



ルース・オング・ウェイ・リンさん Ms. Ruth ONG Wei Lin

シンガポール・ラッフルズ学園

名門ラッフルズ学園の高校生などを対象とした体験学習の指導に当たる。生態系文学、指導者養成、場の教育やコミュニティ教育などを教えながら、アジア各地での体験学習(サービ斯拉ーニング)プログラムを展開する。

参加申込

持続可能な社会をどう作っていくか。それぞれの場、地域が持つ学びの意義と価値は何か。学生から企業人まで幅広いみなさんの参加をお待ちしています。

氏名、所属、連絡先(郵便番号、住所、電話、メールアドレス)、参加希望分科会名、レセプション参加の有無、参加の動機と期待、地域に関して取り組んでいる活動があればその紹介も添えて、エコプラス事務局(info@ecoplus.jp FAX:03-5294-1442)までお知らせください。当日参加も可能ですが、できるだけ事前申し込みをお願いします。申し込みをいただいた方には資料を用意し、後日報告書をお送りします。



特定非営利活動法人 ECOPLUS

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-5-16-4F

TEL:03-5294-1441 FAX:03-5294-1442 info@ecoplus.jp

http://www.ecoplus.jp/